

単元名： めざせ！ ツアーコンダクター
「比例の関係を詳しく調べよう」

男子12名 女子15名 計27名

指導者 河村 由紀恵

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領算数科第6学年、「C変化と関係」の指導事項（1）「比例」の内容を受けて設定したものである。本単元では、比例の性質を理解し、伴って変わる数量を比例関係とみて、目的に応じて表や式やグラフを活用することで、変化の特徴を捉え、比例関係を用いた問題解決の方法を日常生活に生かすことをねらいとしている。また、ここでの学習は、中学の「関数」の学習の素地となり、理科の学習にも関わる。

○ 児童観

本学級の児童は、第5学年で、比例の定義を理解し、表と数直線に関連付け、比例の関係を根拠として立式したり、計算の仕方を考えたりする学習をしている。レディネステストでは、すべての児童が比例の関係を表に表すことができる。しかし、二つの数量の関係を□や○として式に表すことができる児童が、59%である。また、比の値をみる問題では、二つの数量の変化を比の値で正確に表すことができる児童が67%である。このことから、二つの数量関係を式に表すことや、数量の関係を比の値で表すことが難しい児童がいる。

協働解決の場面では、自分の考えを伝えようと意欲的に取り組もうとする児童が少ない。児童意識調査において、「自分の考えを言葉や図・式で書き、その根拠も考えている。」の項目では、肯定的評価をした児童が93%で、考えを表すことについては肯定的である。しかし「相手に伝わるように自分の考えを工夫して伝えている」の項目では、否定的回答が44%で、相手意識をもって説明している児童が少ない。

○ 指導観

指導に当たっては、問題を解決する上で、まず伴って変わる二つの数量を見だし、数量関係に着目させて、目的に応じて表や式やグラフを用いて表現する活動を取り入れる。そうすることで、二つの数量の変化や対応の特徴を考察することができる。日常の事象について、非効率的なものや直接的に調べるのが難しい場合でも、効率のよい問題解決の方法を考えることができる。

課題設定の場面では、修学旅行の経験から、「めざせ！ ツアーコンダクター」という設定で、添乗員さんになりきり、旅行を計画する上で解決すべき問題を解決していくことで児童の主体的な学習を促していきたい。

整理・分析の場面では、既習事項を基に、これまで表を横に見て比例の関係を見てきたが、ここでは表を縦に見て「対応のきまり」に気付かせたい。そして、比例関係で成り立つきまりに着目し、比例の式や「決まった数」を多面的にみて考える力を養いたい。また、本学級の課題である、自分の考えを表や式やグラフと関連付けて説明することで数量関係を捉え問題を解決する力を高めていきたい。表に数量の関係を書き込んだり、吹き出しに説明や根拠を書き込んだりする活動を常に取り入れていく。また、日常の事象において、比例の関係かどうか分かりにくい問題を、比例や反比例の場面で捉え、表や式やグラフで説明することで、比例の関係を活用するよさを味わわせたい。

単元の目標及び内容について

- 比例や反比例の意味や性質，表やグラフの特徴について理解し，比例や反比例の関係を用いた問題解決の方法について知る。
【C(1)ア(ア)(イ)(ウ)知識及び技能】
- 伴って変わる二つの数量を見いだして，それらの関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用い，関係を表すことを通して，変化や対応の特徴を見だし，それらを日常生活に生かす。
【C(1)イ(ア)思考力，判断力，表現力等】
- 数学的に表現したり処理したりしたことを振り返り，多面的に捉えたり検討したりしてよりよいものを求めて粘り強く考え，数学のよさに気付き，今後の学習や生活に活用しようとする。
【C(1)イ(ア)学びに向かう力，人間性等】

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比例や反比例の意味や性質，表やグラフの特徴について理解し，比例や反比例の関係を用いた問題解決の方法について知っている。	伴って変わる二つの数量を見いだして，それらの関係に着目し，目的に応じて表や式，グラフを用い，関係を表すことを通して，変化や対応の特徴を見だし，それらを日常生活に生かしている。	数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え，検討してよりよいものを求め，粘り強く考えたり，数学的な処理のよさに気付き，日常生活に活用しようとしていたりしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【知識・技能】	<ul style="list-style-type: none"> ・比例や反比例の意味や性質，表やグラフの特徴について理解を深めている。 ・比例や反比例の関係にある二つの数量関係を目的に応じて表や式，グラフに表し，比例の関係を用いて様々方法で問題を解決する方法を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例や反比例の意味や性質，表やグラフの特徴について理解している。 ・比例や反比例の関係にある二つの数量関係を目的に応じて表や式，グラフに表し，比例の関係を用いて問題を解決する方法を知ることができる。
【思考力】 【表現力】	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの量を見だし，数量関係に着目しながら，目的に応じて表や式・言葉，グラフなどの適切な表現を選択して変化や対応の特徴を見いだしている。 ・日常生活などの比例を活用できる場面で比例関係を生かして問題を解決したり，その方法や結果を評価して必要に応じて目的に適したものに改善したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量を見いだして，それらの関係に着目しながら，目的に応じて表や式，言葉，グラフなどを用いて表現し，変化や対応の特徴を見いだしている。 ・日常生活などの比例を活用できる場面で比例関係を生かして問題を解決している。
【主体性】 【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習に，比例が活用できる場面を見付け，能率のよい処理の仕方を求め，積極的に比例関係を生かし問題解決の方法や結果を評価し，必要に応じて目的に適したものに改善していこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習に，比例が活用できる場面を見付け，能率のよい処理の仕方を求め，積極的に比例関係を生かしていこうとしている。

指導と評価の計画

全 16 時間

次	時	学習内容	評 価			育成したい 資質・ 能力		
			知	思	主			
一	1	課題の設定 (1) ○既習の比例学習を振り返り，比例に興味をもち，伴って変わる二つの数量関係を表に表したり問題を求めたりしていききたいという意欲をもつ。 ・修学旅行の経験から添乗員さんがしていた仕事を振り返り，「めざせ！ツアーコンダクター」として旅行の計画に必要な情報を調べたいという意欲をもつ。 ・比例だけでなく反比例の関係もあることに疑問をもち，反比例に対する意欲をもたせる。 ・ゴールの見通しをもち，学習計画を立て，単元で付けたい力について考える。			○	・既習の比例について復習し，新たな比例の課題について解決しようとする意欲をもつ。	発言 ノート ワークシート	主体性
	2	情報の収集・整理・分析① (4) ○比例の性質について理解する。 ・式を使って表を完成する中で，伴って変わる量の関係を調べる。 ・表を完成する中で x と y の関係の性質を調べる。 ・ y が x に比例するとき， x が \square 倍になるとそれに伴って y も \square 倍になることに気付く。 ・倍を表す数が整数の時と同じであることから，どんな時でもこの性質が成り立つのか課題をもつ。	○			・ y が x に比例するとき， x の値が \square 倍になるとそれに伴って y の値も同じ \square 倍になることを理解している。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	3	○二つの数量の変わり方の割合に着目し，比例の関係について理解を深める。 ・ x と y の値の変わり方を調べ，比例の性質についてまとめる。 ・ y が x に比例するとき， x と y の二つの数量の変わり方の割合は等しくなることに気付く。 ・ y が x に比例するとき， x の値が \square 倍になるとそれに対応する y の値も \square 倍になることや， \square には同じ数が入り，整数だけではなく，小数や分数が入るといふ比例の性質について気付く，そのことをまとめる。 ・表を横に見て， x ， y それぞれの変化をみているが，表を縦に見ると何か関係性があるのかという課題をもつ。	○			・ y が x に比例するとき， x の値が \square 倍になるとそれに伴って y の値も同じ \square 倍になることを理解している。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	4	○二つの数量が比例するとき，「 $y = \text{決まった数} \times x$ 」と表せることを理解し，比例関係を式に表す。 ・問題と課題をとらえ，比例の関係を式に表す。 ・表を縦に見ると比例の関係の時に成り立つきまりがないか式に表しながら考える。 ・決まった数が $x \times \square = y$ や $y \div x = \square$ で表すことができることに気付く， y の式「 $y = \text{決まった数} \times x$ 」で表す。	○			・ y が x に比例するとき， $y = \text{決まった数} \times x$ と表せることを理解し，比例の関係を式に表している。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能

次	時	学習内容	評 価			育成したい 資質・ 能力		
			知	思	主		評価規準	評価方法
一	4	<ul style="list-style-type: none"> 「決まった数」は、$x = 1$ のときの y の値になることや、x が 1 増えた時の y の増える量であることを理解する。 他の問題でも y が x に比例する場合、表を縦に見たときの比例の関係の式が活用できるのかという課題をもつ。 						
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○「決まった数」にする部分を変え、比例の式について考え、二つの数量関係を式に表す。 表を横に見て y が x に比例していることを捉える。 表を縦に見て、「$y = \text{決まった数} \times x$」の式に表す。 表を横に見たときに比例関係であることを捉え、表を縦に見たときにも $y \div x = \text{決まった数}$ なので、比例していることを捉え、二つの数量関係を式に表してまとめる。 前時の問題との相違点は、式は同じだが「決まった数」が表すことが違うことに気付く。 「決まった数」を表すことが違うが、どちらの問題も比例関係にあることをまとめる。 表を縦にみて比例関係を式に表して問題を解決することの良さについて気付く。 	○			<ul style="list-style-type: none"> y が x に比例するとき、$y = \text{決まった数} \times x$ と表せることを理解し、比例の関係を式に表している。 	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	6	<p>まとめ・創造・表現①（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適用題をし、比例関係を活用しながら、表や式を用いて考え、問題解決を図る。 比例の関係を活用した問題解決の方法を考える。 比例の關係に着目することで、重さを基に解決する方法を考える。 自分の考えを式や言葉で表しながら考える。 友達との考え方の相違点や共通点を考える。 比例の關係を利用するよさに気付く。【本時】 		○		<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの關係に着目しながら、目的に応じて表や式、言葉などを用いて表現し、変化や対応の特徴を見だし、比例關係を生かして問題を解決している。 	発言 ノート ワークシート	思考力
二	7	<p>情報の収集・整理・分析②（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○比例關係にある二つの數量の値に着目し、比例のグラフの特徴を考える。 比例の關係をグラフにして考える。 表にない x と y の數量關係を、式を使って求め、その点もグラフに取る。 グラフが一直線に並んでいることや 0 の点を通っていることに気付く。 グラフに表して読むことで問題を解決することができるのか課題をもつ。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 比例のグラフは原点を通る直線になることを理解し、比例の關係をグラフに表したり、グラフから読み取ったりしている。 	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	8	<ul style="list-style-type: none"> ○比例のグラフに着目し、式や表の利用とともに、事象の様子を考える。 問題を比例として捉え、比例の關係をグラフに表す。 グラフから數量を読み取る。 	○			発言 ノート	知識・ 技能	

次	時	学習内容	評 価			育成したい 資質・ 能力		
			知	思	主		評価規準	評価方法
二	9	まとめ・創造・表現②（１） ○ 2本の比例のグラフに着目し、それぞれの特徴や事象の様子を考える。 ・異なる傾きの2本のグラフからそれぞれのグラフの特徴を読み取る。 ・比例のグラフを考えることを通して、比例のグラフは2つのグラフを1つにまとめると二つの数量の関係同士を調べやすくなることに気付く。 ・比例の関係ではなさそうな二つの数量関係の場合はどう問題を解決したらよいか課題をもつ。	○			・傾きの異なる2本のグラフから、それぞれの特徴や事象の様子などを読み取っている。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	10	情報の収集・整理・分析③（４） ○二つの数量関係に着目し、反比例について理解する。 ・二つの数量の関係を調べる。 ・xの値が $\frac{1}{2}$ 倍 $\frac{1}{3}$ 倍…になると、それに伴い、yの値は2倍3倍になる関係を「反比例する」ということを知る。 ・比例の関係と比較し、比例と反比例の違いを理解する。 ・xが2倍3倍…となるとyは $\frac{1}{2}$ 倍 $\frac{1}{3}$ 倍…になるときyはxに反比例するという反比例の意味について理解する。	○			・反比例の意味を理解し、二つの数量の変わり方に興味をもち、表を使ってその関係を調べようとしている。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
三	11	○反比例する二つの数量関係に着目し反比例について考える。 ・xが□倍になると、yは $\frac{1}{□}$ 倍になることを反比例の性質について理解を深める。	○			・yがxに反比例するときxの値が分数倍、小数倍になるとyも分数倍、小数倍になることを理解している。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	12	○反比例の時に成り立つ決まりに着目し、反比例の式や関係について考えて表や式に表す。 ・yがxに反比例するとき、y=決まった数÷xと表せることを理解する。 ・反比例の関係を式に表す。 ・表や式を用いて二つの数量関係をまとめる。	○			・yがxに反比例するとき、y=決まった数÷xと表せることを理解し、反比例の関係を式に表している。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能
	13	○反比例の関係にある二つの数量の値に着目し、反比例のグラフの特徴について考える。 ・反比例の関係をグラフに表す。 ・反比例の特徴である点が一直線に並んでいないことや、0の点を通らないことなどに気付き、グラフを読み取る。	○			・反比例の関係をグラフに表し、グラフから特徴を読み取っている。	発言 ノート ワークシート	知識・ 技能

次	時	学習内容	評 価			育成したい 資質・ 能力		
			知	思	主		評価規準	評価方法
四	14 ・ 15	まとめ・創造・表現③（２） ○適用題（「めざせ！ツアーコンダクター」）をし、問題解決を図る。 ・比例関係や反比例にある数量を見だし、比例や反比例の関係に着目して、比例関係を式に表しながら問題解決を図る。		○		・比例関係を用いてパフォーマンス課題の問題を解決している。	発言 ノート ワークシート	思考力
	16	振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・ツアーコンダクター認定式を行う。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びを振り返る。		○		・比例や反比例の関係を式や表で表し、それらを用いて問題を解決することのよさに気付いている。	発言 ワークシート	自己理解

本時の学習

（１）本時の目標

- 比例の関係を活用した問題解決の方法を考え、目的に応じて表、式、言葉を用いて数量関係を表現し、変化や対応の特徴を見だして、問題を解決することができる。

（２）本時の評価規準

- 伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目しながら、目的に応じて表、式、言葉、などを用いて表現し、変化や対応の特徴を見だし、比例関係を生かして問題を解決している。

【思考・判断・表現】

(3) 本時の学習展開 (5時間目/全16時間)

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>1 既習内容を想起し、課題を確認する。 ○パンフレットを全部数えないで用意するにはどうしたらよいでしょう。</p> <p>2 課題解決の見通しをもち、めあてを確認する。 ○パンフレットの枚数が変わるとそれに伴って変わる数量は何ですか。 ・重さ・厚さ・高さ めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>約300枚のパンフレットの重さの求め方を考えよう。</p> </div>	<p>◇比例の関係やその特徴について想起したり、前時で出た課題について考えていくことを確認したりし、学習への意欲を高めるようにする。</p> <p>◇パンフレット1枚の重さが正確に測れないことから、10枚の重さなら分かることから、10枚の重さを基に考えれば、数えなくてもよいことに気付かせ、見通しをもたせるようにする。</p>	
<p>本時のゴールの見通し</p> <p>A : 伴って変わる二つの量を見だし、数量関係に着目しながら、目的に応じて表、式、言葉、などから表現をして変化や対応の特徴を見だし、比例関係を生かした複数の考え方で問題を解決している。</p> <p>B : 伴って変わる二つの量を見だし、数量関係に着目しながら、目的に応じて表、式、言葉、などから表現をして変化や対応の特徴を見だし、比例関係を生かした考え方で問題を解決している。</p>		
<p>3 問題解決の方法を考える。 ○ワークシートに、表、式、グラフを用いて自分の考えを書きましょう。</p> <p>① : 1 当たりの重さから数量関係を見いだす方法</p> <p>・1枚当たりの重さを計算して出してから、表を横に見て300枚分をかけ算で求める。</p> <div style="text-align: center;"> <p> $1 \div 10 = \frac{1}{10}$ $92 \div 10 = 9.2$ $300 \div 1 = 300$ $9.2 \times 300 = 2760$ </p> </div> <p>② : x と y の変わり方の割合が等しい性質を用いて考える方法 (表を横に見る)</p> <p>・枚数が30倍になるので重さも30倍になる。表を横に見て、変わり方の割合が等しい性質を用いて求めよう。</p> <div style="text-align: center;"> <p> $300 \div 10 = 30$ $92 \times 30 = 2760$ </p> </div>	<p>◇自分の考えやすい方法を使って問題解決ができるように、表やグラフ、ヒントカードを活用できるように用意しておく。</p> <p>◆自分の考えが書けない児童には、必要であればヒントカードを渡し、自力解決できるようにする。</p> <p>◇早く終わった児童には、他のやり方でも求めてみるように促し、多様な方法で検討できるようにする。</p>	<p>◎伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係に着目しながら、目的に応じて表、式、言葉などを用いて表現し、変化や対応の特徴を見だし、比例関係を生かして問題を解決している。 〔思考・判断・表現〕(ワークシート・行動観察)</p>

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>③： xとyの対応のきまりから考える方法 (表を縦に見る)</p> <p>・表を縦に見て重さは枚数に比例すると考えて、決まった数を決める。xとyの対応のきまりから求めよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関連付ける</p> <p>着目した2つの数量について、表や数、式などと関連付けながら重さの求め方を考える。</p> </div> <p>○友達に自分の考えを説明しましょう。友達の考えに共通していることや違うところはどこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を縦に見て重さと枚数の決まった数から求めているところが同じだった。(共通点) ・表を横に見て変わり方の割合を求めたけれど、表を縦に見て、重さと枚数の関係から決まった数を求めて考えているところが違った。(相違点) <p>4 全体で、交流する。</p> <p>○①・②・③の考え方は、今まで学習したどの考え方ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①は、1当たりの重さから数量関係を見いだす方法 ・②は、xとyの変わり方の割合が等しい性質を用いて考える方法 (表を横に見る) ・③は、xとyの対応のきまりから考える方法 (表を縦に見る) 	<p>◇自分の考えとの共通点と相違点を見付けさせることで、自分の考えを見直したり、考えを広げたり深めたりするために、聞かときの視点を与え、ペアトークの仕方を確認する。</p> <p>◇全体で取り上げた考えを、既習の①②③の考え方に照らし合わせることで、自分の考えを広げたり深めたりするとともに、効率的な考え方や目的に応じた表や式の使い方に気付けるようにする。</p>	

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい</p>
<p>○この3つの考え方で「は・か・せ・どん」なのはどの考え方だと思いますか。 ・②だと思います。理由は、横に見たほうが数が30倍で計算が「せいかく」で「かんたん」にできます。 ・③だともいます。常に「9.2」をかけたりわたりするとxとyが求められるからです。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>◇効率的だと思う求め方を考えることで、問題によって効率的な考え方に気付くことができるようにする。</p>	
<p>★めざす児童の姿 パンフレットの重さは、枚数に比例すると考え、比例の関係を表や式を使って考えると、求めることができた。日常にある様々な問題も比例すると考えることで解決することができる。</p>		
<p>6 適用問題をやる。 ○必要な枚数が313枚になった場合どうなるでしょう。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇実際のパンフレットを図ることで日常的問題解決のために、比例の考え方が活用できることを実感させる。</p> <p>◇重さと枚数の2量に着目し、比例の関係を活用すればよいことをおさえ、本時の学びを確かめることができるようにする。</p> <p>◇目的に応じて表や式を用い、効率的な考え方はどれか考えさせる。</p> <p>◇次時は、違う日常的事象の問題を解決する学習に取り組むことを伝え次時の学習に意欲をもたせる。</p>	

(4) 板書

11/2

めあて

重さから300枚のパンフレットを用意するにはどうしたらよいかを考えよう。

パンフレット300枚を数えないで用意する方法を考えましょう。

重さ □ 厚さ □ 高さ □

枚数…10枚
重さ…92g

1 当たりの数から
表を横に見る

Aさん

枚数X (枚)	1	10	300
重さy (g)	9.2	92	□

$1 \div 10 = \frac{1}{10}$
 $92 \div 10 = 9.2$
(1枚あたりの重さ)
 $300 \div 1 = 300$
(倍の値)
 $9.2 \times 300 = 2760$
A. 2760g

変わり方の割合から
表を横に見る

Bさん

枚数X (枚)	10	300
重さy (g)	92	□

$300 \div 10 = 30$
(xの変化の値30倍)
 $92 \times 30 = 2760$
yも30倍
A. 2760g

対応のきまりから
表を縦に見る

Cさん

枚数X (枚)	10	300
重さy (g)	92	□

$10 \times \square = 92$
 $\square = 92 \div 10$
= 9.2 (決まった数)
(1枚あたりの重さ)
 $9.2 \times 300 = 2760$
(300枚分)
A. 2760g

練習問題

枚数X (枚)	10	313
重さy (g)	92	□

9.2×313
= 2879.6
(313枚分)
A. 2879.6g
・表を縦に見る

まとめ


パンフレットの重さは、枚数に比例すると考え、数量の関係を表や式を使って考えると、求めることができる。

<参考> 「学びのモニタリング」

めざせ! ツアーコンダクター★		
～修学旅行での問題を解決せよ☆多ベストプランへの道～		
めあて	ふりかえり (分かったこと+やりたいこと+疑問や分らなかったことなど)	多ベスト 問題
①		
②		
③		1
④		2
⑤		
⑥		3
⑦		
⑧		4
⑨		
比例の振り返り	①比例の特徴・性質について知ることができた。◎ ○ △ ②比例関係の3つの考え方から問題を解決することができた。◎ ○ △ ③ツアーコンダクターの問題に最後まで取り組むことができた。◎ ○ △	
ここまでの振り返り 学習して分かったことなど		

⑩		
⑪		5
⑫		
⑬		6
⑭		
⑮		7最終 問題
⑯		確定式
反比例の振り返り	①反比例の特徴・性質について知ることができた。◎ ○ △ ②反比例関係の3つの考え方から問題を解決することができた。◎ ○ △ ③ツアーコンダクターの問題に最後まで取り組むことができた。◎ ○ △	
ここまでの振り返り 学習して分かったことなど		
比例・反比例の学習の振り返り		

「パフォーマンス課題」

パフォーマンス課題 名前()	
<p>2021年度海田東小学校の6年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先…四国方面(愛媛・香川) ・日にち…2021年10月1日2日(確定ではありません) ・出発時間…8:00 ・人数…90名 ・行程 ○1日目 愛媛県総合博物館—丸亀城—休暇村五色台 ○2日目 金刀比羅宮参拝—中野うどん学校—四国水族館 	<p>考えること②</p> <p>●今、17:50です。18:00から入浴開始です。深さ80cmの大浴場の60cmのところまでいっぱいにお湯をためます。1分あたりにたまる深さをいろいろ変えるとき、五色台のスタッフは1分あたりにたまる深さどのようにすれば入浴開始に間に合うでしょうか。</p> <p>1分あたりにたまる水の深さが4cmのとき15分かかります。</p>
<p>考えること①</p> <p>●到着時間を愛媛県総合科学博物館に伝えなくてはなりません。海田東小学校から愛媛県総合博物館までは、どのくらいで着くでしょうか。</p> <p>①途中の(八幡)サービスエリアと(来島海峡)サービスエリアには、何時何分に着くでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校から(八幡)サービスエリアまでは、(83.6)kmです 1時間6分 ・(八幡)サービスエリアから(来島海峡)サービスエリアまでは、(97)km ・来島海峡から愛媛県総合博物館までは、(48)kmです。 	<p>表</p> <p>式</p> <p>説明</p>
<p>表</p> <p>式</p> <p>説明</p>	<p>ふりかえり</p>